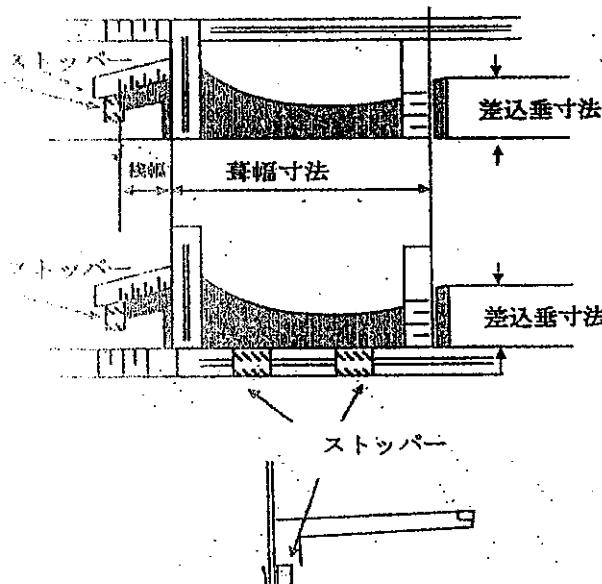


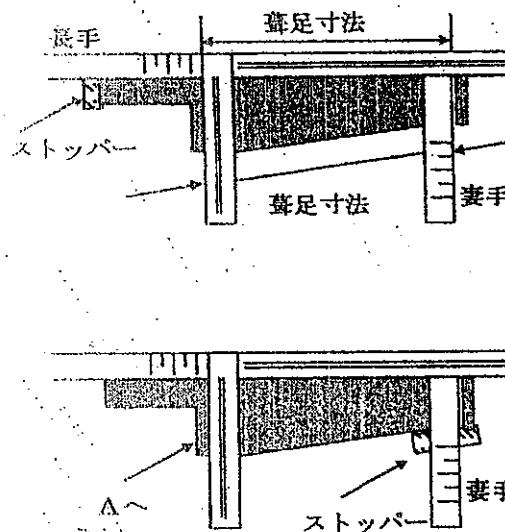
瓦曲矩K-2型使用説明書

1) 一文字軒瓦の葺幅寸法・雀口同時型取り



- ◎一文字軒瓦の雀口の型取りの時棟幅を決められる。
- ◎棟側寸法と差込垂寸法を妻手外側目盛によって同時に見ることができる。
- ◎利幅寸法は長手外側目盛とする。
- ◎ストッパーを調整して棟幅を決める。
- ◎三ヶ所同時に寸法取ができる。

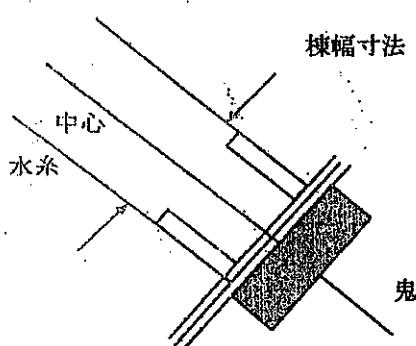
2) 袖瓦の葺足寸法両端同時記入（上部を基準の時）



- ◎目盛の読み方には、外側と内側がある。
切り取線を外側で付けるときは、外側の目盛を使用し、内側で線を付けるときは、内側の目盛とする。
- ◎垂寸法を計るときは妻手の内側とする。
- ◎ストッパーを調整して腕の長さを決める。
- ◎スライド最小幅→2寸5分 (75 mm)
内～内最大幅→1尺9寸5分 (590 mm)

◎袖瓦のAの部分を基準にする時は、ストッパーを図の位置に取り付けて調整して下さい。

3) 棟幅寸法と鬼瓦据付け



- ◎棟幅の水糸と鬼瓦の直角度及び中心を同時に確認することができる。長手外側の目盛を使用する。
- ◎棟瓦の利幅寸法計測・棟木打等の定規作成のとき狂いが少ない。
- ◎スライド最小幅→2寸5分 (75 mm)
内～内最大幅→1尺9寸5分 (590 mm)
- ◎取り外しができます。
自由に組んで使用法をご研究下さい。

株式会社 つかさ

静岡県浜松市大瀬町 688-2

T E L (053) 435-4133 F A X (053) 435-3630